

持続可能な社会をめざしSDGsの推進を！

「誰も置き去りにしない」という理念を持つSDGs。持続可能な社会をめざす視点で質問したい。

1. 財政問題について

問) 収支均衡型予算編成、基金残高が前年度を上回ることにについて評価する。過去2番目の予算規模の要因、持続可能な財政運営の実現への取り組みは。**市長)** 保育園事業、学童保育所、学校施設関係、子ども関係の事業に大いに力を入れた。慎重かつ適正な財政運営を行いたい。

2. 新庁舎建設にむけて

問) (仮称)国分寺市新庁舎整備基本計画の策定、新庁舎の基本設計から設計・施工を一括して行う事業者選定の実施には、ていねいかつスピード感が必要。**市長)** 基本計画策定は7月に、事業者選定は年度末には決定したい。**問)** 移転後の現庁舎用地の活用と恋ヶ窪駅周辺のまちづくりは並行して行われる大事な事業。今以上に、まちの活性化が必要と考える。**市長)** 現庁舎用地に出先機関を残すことも含めてご意見を聴きながら進める。今後の発展が大いに期待されるようなまちづくりをすすめたい。

3. 安心して産み、子育てできる環境づくり

問) 幼児教育・保育無償化の対象にならない施設等の利用者への市独自制度「幼児養育費補助金」の創設を評価する。国の動きを注視すべき。

市長) 国は予算に対するスキームを示していない為、動向をみながら的確に対応したい。**問)** 学童保育所の狭隘状況は厳しい。児童の安全な環境整備のための拡充策を求める。**市長)** 増設への認識はある。民設民営学童保育所の誘致、公設学童保育所の整備を行っていく。**問)** 小中学校の屋内運動場空調整備の全校設置を決定されたことを評価する。**市長)** 一中や他市の状況を検証した上で進めるという方針のもと決定した。令和3年度までに全小中学校に設置する。

4. 東京2020オリパラから得られるもの

問) オリパラのレガシーは共生社会の実現、バリアフリーへの取り組みである。バリアフリー基本構想策定にどう取組むか。**市長)** 誰でも住みやすいまちを目指すという考え方を基本として2年かけ策定したい。**問)** 西武国分寺線・多摩湖線国分寺駅ホームのホームドアの設置時期は。JRにも積極的に働きかけを求める。**市長)** 下半期には設置予定。JRにも引き続き要請する。

公明党
さの 久美子



5. 健康施策について

問) 高齢者肺炎球菌ワクチンの市独自の予防接種費用助成制度は事実上制限撤廃。大いに評価する。**市長)** 接種率向上と肺炎予防の効果を図りたい。**問)** 乳がん検診にマンモグラフィ検診車導入との表明。受診環境の拡大を評価する。**市長)** 土日に市役所、いずみプラザにて年29回実施。受診率の向上、早期発見を図りたい。

6. 防災力の向上について

問) 昨年の台風を受け、地域防災計画等の見直しは迅速に。災害時等障害者支援バンドナ等の備品の拡充を評価。使いこなす訓練が必要。**市長)** 風水害対応を強化。防災訓練で行いたい。

7. 「パートナーシップ制度」の導入について

問) 性の多様性に対応する制度、どう検討し進めるのか。**市長)** 令和2年度中の導入を目指す。**問)** 戦後75周年の節目。平和の次世代への継承策は。**市長)** 新たに長崎から伝承者を招き、被爆者から聞いた被爆体験談を聞く機会を設ける。

景気大悪化—くらし支える施策こそ展開を

●安倍政権の7年間で、家計消費が31万円減、つまり一ヶ月分の消費を奪われたことになる。急激な悪化のもとで①市民負担を増やす政策メニューはストップすべきではないか。

②国民健康保険税のこどもへの均等割課税を軽減すべきと、多摩でも6市が実施に。都議会にその分を都が負担する条例を提出しており、チャンスを生かし、市も実施を決断せよ。

③後期高齢者医療保険料の値上げで、初の10万円台と心配されているが212億円の基金活用で負担増やめるように、市長として意見表明を。

④介護保険料の見直し年だが、過大な給付見込みの見直しと、基金の活用で値下げ可能だ。

市長) ①財政基盤の確立めざし市民負担の先送りはしない。②国が責任をもつべきで、市長会で要望し続けている。③後期保険料への基金活用は広域連合として考えていないが、剰余金で抑制ときいている。④介護保険料の基金活用は考え直して精査しながら進めたい。

●都立病院の「独法化」=サービス低下反対を都知事が、都の方針を投げ捨て、多摩総合医療センター、小児医療センター、神経病院など地

方独立行政法人化を突然強行しようとしている。

三病院の一日当たりの市民利用は636人も。独法化したところは、医療の後退、患者負担増が現実になっているが、難病、高度医療など採算の取れにくい「行政医療」を担って、かけがえのないものだ。

市長) 多摩地域の高度な重要な医療機関との認識は同じだ。サービス低下、支障ないように市長会と連携し要望したい。

●新庁舎建設と跡地利用にもっと市民と職員の参画を求めるべき

新庁舎基本計画に4~5ヶ月、跡地利用計画に10ヶ月ほどで時間も、進める体制もあまりに不十分なのではないか。市民にとって大切だ。

市長) 体制は4名から大幅に増員する。新庁舎のレストランの可否は控える。西国分寺駅東口開設は努力する。跡地計画も声をききまとめる○サービスレベルを下げない○再配置と複合化○恋ヶ窪駅周辺として○民間業者の意見も聞き一部収益の上がるものを考えたい。

●ジェンダー平等の推進、パートナーシップと共に選択的夫婦別姓を

日本共産党国分寺市議団
中沢 正利



過去最低の121位のランクは、ギャップ是正に取りくんでいないからである。思い切った努力をすべきだ。

市長) パートナーシップ制の導入とともに、市民、事業者の啓発を行う。夫婦別姓は機会に合わせて声を聴きたい。

●小学校給食の調理施設の活用を防災計画で明確化、具体化すべきではないか。

調理の委託化がすすめられているが、避難所での食事の提供は命の問題であり再検討を。

市長) 非常時には使えることにはなっている

●市民への提起と日頃の備えがないとすまない問題である。

●ギガスクール構想を文科省は全面的に進める動きだが、集団の中で学び人格の完成をめざす学校教育が根底から壊される恐れがある。

教育長) 今後、検討が必要で、メリットもあるので、しっかり対応していきたい。

●他に核兵器禁止条約、幼保無償化拡大策も。

共生社会の実現に向けた事業の充実を！

(問) お互いに思いやりがもてる温かいまちづくりをしていきたいとのことだが、一方で困難を抱える人が増えている。個人の問題として捉えるのではなく、社会に生きづらさがあると認識することも必要だ (市長) 孤立することが一番まずい。問題の解決に至らない。多くの人たちが支え合うことが必要で地道なつながりづくりが重要 (問) 幼い頃から様々な関わりの中で育まれる力は計り知れない。インクルーシブな保育や教育をもっと進める必要がある (教育長) 特別支援教育の視点が極めて重要だが、特別支援という言葉すらなくなる社会を目指すことが必要かもしれない。一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な指導や必要な支援が行われるよう環境を整えていきたい (問) 交流や共同学習の

時間がさらに充実するよう指導や支援が柔軟に行える体制整備を求める (教育長) 具体的な方策として教育委員会としてもしっかり考えていく (問) インクルーシブな教育や共生社会に向けた事業の充実に必要な予算づけを求める。

(市長) 補助金も活かしながら一つ一つ前に進めたい (問) 自動販売機のペットボトルを缶に変えるとのことだ。飲料水は缶入りがないため、マイボトルに水が汲める「給水機」の設置を提案 (市長) ペットボトルをなくすには代替品が必要。一つの検討要素だ (問) 新たな公園の整備や遊具の更新時には、例えば、車イスのまま遊べる砂場や背もたれとベルトのついたイス型のブランコなどを設置し、障がいの有無にかかわらず子どもたちが一緒に遊べる遊び場づくり

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



を！ (市長) 安全面に充分配慮しながら検討したい (問) 児童虐待について、親を孤立させない初期対応と、子どもたちが安心して相談できる「子どもの権利の視点」にたった第三者による相談体制の整備を求める (市長) 初期対応が非常に重要だが保護者との面談では発見しにくい部分もある。子どもが何でも相談できる専用電話を子ども家庭支援センターに設置している (問) それらも重要だが、公的な第三者機関だからこそできることもある。検討を求める。また、戦後75年の本年、世界平和に向けて一人ひとりが考え行動できる平和祈念事業の開催を要望。